

第1回 吉田島高等学校運営協議会議事録

令和5年6月30日 15:30～ 本館2階 セミナールーム 021

1. 開会 副校長挨拶により開会

2. 校長挨拶

こんにちは。校長の岩崎秀太と申します。よろしく申し上げます。本日は大変お忙しい中、学校運営協議会のためにお集まりいただきましてありがとうございます。後ほど委員の皆さま方には教育委員会からの委嘱状をお渡しさせていただきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

さて、学校の方ですが、新型コロナウイルス感染症が第5類に移行したということで、様々な教育活動の制限が解除されました。その関係で、まずは、6月6日に体育祭を実施させていただくことができました。規制改善の中の学校祭ということで、本当に生徒も非常に生き生きとして、とても楽しそうに一日を過ごしたというところがあります。また、地元のあじさい祭に、生徒が主体的に参加し、活動することができました。特に、本校生活科学科の家庭クラブの生徒が中心となって、弥一芋のコロッケを制作し、地元の方々を中心に広く販売、普及活動することができました。地域とのつながり、地域社会への貢献という視点で、生徒たちが一生懸命取り組んだ成果であり、本校に設置した生活科学科の存在意義を地域の皆様方にご理解いただけたと感じております。この実施にあたりましては、開成町に多大なるご協力をいただき、ありがとうございました。さて、本日の学校運営協議会の場では、本校の果たすべき教育的な役割をはじめ、様々な諸課題について皆様方からの忌憚のないご意見をいただきながら協議をするということになっております。どうか皆様方のそれぞれのお立場で、本校、吉田島高校の様々な課題について、ご意見をいただきながら、運営協議会を運営させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。

3. 委員の紹介及び委嘱

- ・副校長より「吉田島高等学校運営協議会」名簿に沿って委員の紹介。
- ・校長より委員の皆様方に教育委員会からの委嘱状を手渡す。

4. 事務局紹介

(副校長より)

- ・「令和5年度 吉高運営協議会組織図」より、吉田島高等学校職員の紹介（自己紹介）。事務局と本日の記録係紹介
 - ・配付資料の確認。
- 「令和5年度 吉田島高等学校運営協議会 次第」により確認。

5. 会長選出

- ・校長の推薦により、鳥海久元様に今年度の会長を依頼。

6. 協議(議長:鳥海会長)

(1) グランドデザインについて校長より説明

グランドデザインを作成する際に校訓である、至誠勤労を念頭においている。これは開校以来伝統のあるもので、二宮尊徳の言葉である。私も入学式の際には、必ず新入生にこの意味を説明し、生徒には、自分の生き方をどうしていくかということを考えてほしいと思う。

本校は専門高校ということで、農業、家庭科それぞれの専門学科を設置している。その中で、産業を担う人材を育成するということを念頭に人材育成をしている。

SDGsは最近、どの部門でも世界各国共通事項になっている。本校の教育活動あるいは生徒のそれぞれの活動がこのSDGsのどの部分に該当するのか、しっかり示しながら、生徒にSDGsの意味を理解させている。これをグランドデザインとあわせて、本校の学校案内にもそれぞれ学科、教育内容がSDGsの17の項目のどれにあたるのかを示している。

スクールミッションについては、教育委員会が吉田島高校のミッションという形で示したものの。このミッションを基にスクールポリシーを策定している。スクールポリシーについては、専門学科の専門的な教育を通じて、産業人材の育成、そして3年間を見据えたキャリア教育を実施する中で、卒業に向けて、自分がどのような進路に進むのか、そして、専門学科の学習と結びつけながら考えていく、流れになっている。本校に入学したい、あるいは入学する生徒に対しての求める生徒像を示したものである。最近本校に入ってくる生徒の志望の動機が非常に

多様。後ほど、課題の中でもたくさん出てくるかと思うが農業や家庭科を学びたいという強い意欲を持った生徒ばかりではない。本校に在籍している生徒は、非常に高い意欲を持った生徒から、正直、目的意識のない生徒もいる状況である。この後グループの中から出るさまざまな課題の中には、そのような背景があるということをぜひご理解いただきたいと思う。

(2) 学校教育計画

(3) 令和5年度学校目標

① 教育課程、学習指導

(学事グループリーダー 阿出川総括教諭)

専門学科の特性を生かし、新しいカリキュラムに向け編成を考えている。

(企画・情報グループリーダー 露木総括教諭)

本校の授業改善として、OKJ(「教えて考えさせる授業」)を学校全体で取り入れた。今までの教育は、考えることを中心としていたが、「教員が教え、その知識を生かして課題を考える」といったような授業展開を実施している。また、教員の中でも授業改善の検討会を月に1度程度で開催している。

一人一台パソコンを導入したので、ICTを活用した授業づくりも同時に展開していく。

(生徒活動グループリーダー 高梨総括教諭)

先日の体育祭は、生徒が活気をもって楽しめたと思う。次回は11月に文化祭が実施されるので、生徒主体となって盛り上げてほしい。

(山口委員 意見)

生徒主体で動くことや、考えることはとても良いことだと思う。実際に就職した後にもとても役立つことだと思うので是非続けていってほしい。

② 生徒指導・支援(生徒指導・支援グループリーダー 小澤総括教諭)

昨年度は SNS での問題行動が多くあった。生徒たちにとってはコミュニケーションツールだが、表情などが見えないコミュニケーションをどう取っていったらいいのかとか、その場面で指導してきたらいいと考えている。

また、専門家として SSW、SSC などを配置し、教員間で情報を共有するようにしている。

③ 進路指導・支援(キャリアグループリーダー 片山総括教諭)

生徒たちは、まず考えることがすごく苦手で、考えたとしてもそれを伝えることもできない。コロナで登校できない期間があり、マスクにより表情が見えなかったこともあり、コミュニケーション力が育っていない生徒は多い。

会社の情報交換会では、ぜひ見に来て体験をして、その仕事ができるかを考えてほしいと思っている。

④ 地域等との協働(専門教育・広報グループリーダー 小野総括教諭)

ツイッターなどを通してたくさんの情報を発信していきたい。時系列ではなくカテゴリー別に発信していきたいと思う。中学生には、正しい情報を与えていきたい。

⑤ 学校管理、学校運営(管理グループリーダー 菊池総括教諭)

防災訓練を通して防災意識の向上や、安全対策などを引き続き行っていく。

(熊沢委員)

生徒は多様化している中で、目的意識をもっていない生徒ばかりではなく、目的意識をもって入学してきた生徒を伸ばすことを忘れないでほしい。

(山本委員)

学校の中を歩いていると、生徒たちは挨拶をしてくれていいと思う。

制服や、頭髪に関して自由に行っているところもあるが、吉田島高校ではどう考えているか？

(高梨総括教諭)

ルールを守ることや、就職に向け、指導はしていきたい。

(岩崎校長)

多様性に関して、性別、制服、頭髪に関しては議論されているが、世の中の流れを見ながら、学校でも考えて

いきたい。

(鳥海議長)

黒ヶ畑寮、演習林は県内唯一のものなので全面に出し、宣伝してほしい。

(井上委員)

極端な話、入試で0点の生徒が入ってきた場合、どうしているか？

(露木総括教諭)

そういった生徒に対して、模索しながら教えている。OKJを取り入れて授業改善を行うことや、少人数制の授業にするなど考えている。

(4) 不祥事ゼロへの取り組みについて

(副校長より)

職員向けの不祥事防止研修を月1回実施し、研修等を通じて教員の意識を深めている。研修会では、パワハラ、セクハラ、生徒へのわいせつ行為防止、体罰などの禁止、入学者選抜による事故防止に向け、不祥事の事例の紹介や、状況判断に関する問題を解くなど、職員が自分事としてとらえるよう不祥事防止研修を行っている。また、定期試験、成績処理、進路指導については、多くの職員で確認、点検を行い、生徒にとって不利益がないように努めている。保護者の皆さまからお預かりした諸会費等の私費会計の取り扱いについても、年度当初に私費会計マニュアルを全職員に配付し、適正な処理が行われるように努めている。

不祥事ゼロプログラムについては、今後3回に分けて今年度の検証を行っていく。第1回の検証は9月末までに職員で検証し、12月までに修正を行う。第2回の検証については12月までに実施し2月までに修正を行う。3回目は3月に実施しその結果をホームページに掲載する。昨年度の検証結果と今年度の不祥事ゼロプログラムはホームページに掲載されているので見てほしい。ちょっとした心の隙で不祥事は起こりうる。不祥事はあってはならぬことなので学校全体で注意して取り組んでいく。職員同士でコミュニケーションを取って風通しの良い職場を目指している。

7. 報告事項

(教頭より)

本日の記録についてはまとも次第送付させていただくとともに、ホームページに掲載させていただく。

○次回の吉田島高等学校運営協議会日程確認

- ・第2回 令和5年11月22日(水)
- ・第3回 令和6年3月8日(金)

8. その他

(企画・情報グループリーダーより)

・「令和5年度コミュニティー・スクール説明会の参加について(依頼)」、今後詳細が県より送付され次第皆さまに送付するのでご協力をお願いしたい。

9. 閉会

・副校長挨拶により閉会